

日本語



# LAUNCHCONTROL



Launch Control 3 ユーザーガイド

Version 1.1

# 目次

Launch Control 3 - はじめに .....	3
同梱品 .....	3
始めるには Launch Control 3 .....	4
Launch Control 3 の接続および電源供給 .....	4
イージースタート .....	6
トラブルシューティング .....	7
Launch Control 3 ハードウェア概要 .....	8
Launch Control 3 のトップパネル .....	8
Launch Control 3 のリアパネル .....	18
Launch Control 3 でカスタムモードを使用する .....	21
Novation Components で Launch Control 3 のカスタムモードを作成する .....	22
Launch Control 3 を DAW 以外で使用する .....	23
Launch Control 3 で外部機器をコントロールする .....	24
Launch Control 3 で複数の機器をコントロールする .....	25
Launch Control 3 をハイブリッドなセットアップで使用する .....	27
Launch Control 3 を音楽以外の用途に使用する .....	28
Launch Control 3 で DAW をコントロールする .....	29
Launch Control 3 で Ableton Live  .....	29
Launch Control 3 で Logic Pro  .....	38
Launch Control 3 で Cubase  .....	46
FL Studio を Launch Control 3 でコントロールする .....	55
使用して Launch Control 3 他の DAW と .....	59
Launch Control 3 の Settings ( 設定 ) ページ .....	63
ブートルoaderモード .....	63
Launch Control 3 仕様 .....	65
技術仕様 .....	65
重量および寸法 .....	65
Launch Control 3 保守パーツ .....	66
Launch Control 3 付録 .....	67
デフォルトモード ( 8 ) のパラメータ .....	67
その他の情報 .....	68
トラブルシューティング .....	68
商標 .....	68
免責事項 .....	68
著作権および法定通知 .....	68
謝辞 .....	70

# Launch Control 3 - はじめに

Launch Control 3 は、DAW やソフトウェアシンセ、エフェクト、外部ハードウェアを USB または MIDI ポート経由でコントロールするための MIDI コントロール・サーフェスです。16 のエンドレス・エンコーダー、8 のプログラム可能なボタン、専用のトランスポート・コントロール、そして OLED ディスプレイを備えます。

- **創造性を刺激するコントロール・サーフェス**

ワークフロー全体を直感的にコントロール — Launch Control XL は、8 つの高精度フェーダー、16 のエンドレス・エンコーダー、8 の割り当て可能なボタンを備え、コンピュータに接続するだけで主要なすべての DAW を簡単に操作できます。カスタムマッピング機能でお使いのプラグインやハードウェアを直感的にコントロールすることも可能。Launch Control XL は、スタジオの中核としてセットアップ全体を掌握する理想的なコントロール・サーフェスです。

- **カスタムマッピングを作成する**

MIDI パラメータをエンコーダーとボタンに割り当て、最大 7 つのカスタム モードを保存し、Novation コンポーネントで管理します。

- **DAW と強力に連携**

Launch Control 3 Ableton Live、Logic Pro、FL Studio、Cubase などとの緊密な統合に加え、その他すべてにおいて Mackie HUI がサポートされています。

- **あらゆるハードウェアと接続**

MIDI In、Out、Out2/Thru ポートにお使いのハードウェアシンセやエフェクト機器を接続し、カスタムマッピングをコントロールできます。コンピュータは必要ありません。

- **ハイブリッド・セットアップに最適**

外部機器や DAW のコントロール、プラグインのパラメータを直感的に操作できる 1 つのカスタムレイアウトに組み合わせて配置でき、究極のハイブリッドセットアップを構築できます。

## 同梱品

- Novation Launch Control 3
- 1.5m (4'11") USB type C-to-A Cable

# 始めるには Launch Control 3

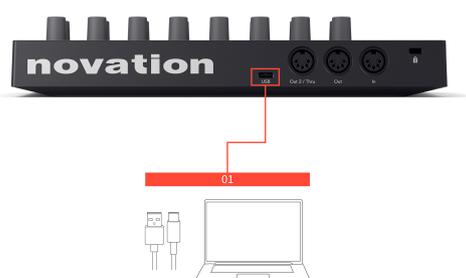
## Launch Control 3 の接続および電源供給

Launch Control 3 は、USB バスパワーで駆動します。付属の USB ケーブルでコンピュータまたは USB 電源アダプターに接続すると、電源がオンになります。

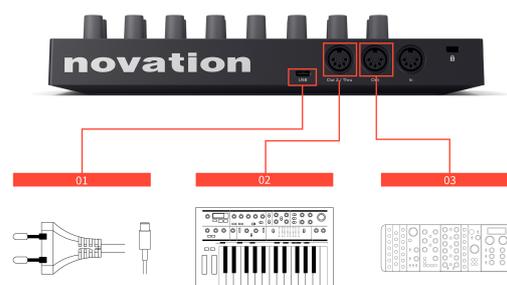
コンピュータに接続すると、USB ポート経由で MIDI データの送受信も行えます。

5 ピン MIDI ポート ( In、Out、Out 2/Thru ) も備え、MIDI ポートを搭載する外部 MIDI ハードウェアを直接接続できます。詳細は、[Launch Control 3 のリアパネル\[18\]](#)をご参照ください。

以下は、Launch Control 3 の電源およびコンピュータ / ハードウェアへの接続例です。



Launch Control 3 の USB-C ポートとコンピュータの USB-A ポートを接続。



Launch Control 3 とハードウェアの接続例。5 ピン MIDI DIN ケーブルでシンセサイザーに接続し、USB 電源アダプターから本体に電源を供給。

### Launch Control 3 をコンピュータに USB 接続して使用する

1. Launch Control 3 とコンピュータを付属の USB-C - USB-A ケーブルで接続します。



#### 注記

Novation 製品で使用できる USB ケーブルの詳細については、次の記事を参照してください。

[Novation 製品ではどの USB ケーブルでも使用できますか?](#)

## Launch Control 3 の MIDI DIN ポートにハードウェアを接続し、USB 電源アダプターで Launch Control 3 に電源を供給する

1. USB 電源アダプター ( 付属しません ) と Launch Control 3 を USB ケーブルで接続します。
2. MIDI **Out 2** ポートとシンセサイザーの MIDI **In** を接続します。
3. モジュラーシンセの MIDI-CV 変換モジュール入力と Launch Control XL の MIDI 出力 **Out** ポートを接続します。



### ヒント

USB 電源アダプターとは、家庭用コンセントから USB 端子に電力を供給するアダプターを指し、一般的なスマートフォン用充電器などがこれに該当します。

Launch Control 3 を駆動するには、以下の電源要件が必要です。

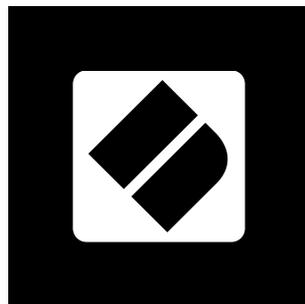
- 2.5 W ( ワット ) 以上
- 5V、最低 500mA ( ミリアンペア )

## イージースタート

イージースタートは、Launch Control を手順に沿ってセットアップし、Launch Control の使用用途に応じてパーソナライズされたチュートリアルの一覧を作成できるオンライン・ツールです。また、Launch Control の製品登録やバンドル・ソフトウェアのダウンロードなども行えます。

Windows または Mac に Launch Control を接続すると、本体が USB ドライブのような大容量記憶装置 (MSD) としてマウントされます。ドライブを開き、「Click Here To Get Started.url」をダブルクリックします。「Get Started」をクリックすると、イージースタートがウェブブラウザで開かれます。

画面の指示に従い必要なソフトウェアをインストールし、Launch Control を使用する準備を行います。



イージースタートツールを使用せずに、Novation ウェブサイトで FLkey の製品登録やバンドルソフトウェアのダウンロードを行うことも可能です。

[id.focusritegroup.com/register](https://id.focusritegroup.com/register) <https://id.focusritegroup.com/en/register>



### 重要

Launch Control を最初に接続する際は、イージースタートを使用しない場合でも、ファームウェアをアップデートすることを強くお勧めします。

Launch Control のファームウェアをアップデートしないと、多くの機能が動作しない可能性があります。

Launch Control のファームウェアのアップデートには、Novation Components を使用します。 [components.novationmusic.com](https://components.novationmusic.com) にアクセスし、ファームウェアをアップデートしてください。

## トラブルシューティング

Launch Control を使い始めるためのヘルプが必要な場合は、こちらをご参照ください：

[novationmusic.com/get-started](https://novationmusic.com/get-started)

Launch Control に関して不明な点がある場合には、いつでもヘルプセンターをご利用いただけます。  
また、以下の URL からサポートチームにお問い合わせいただくことも可能です：

[support.novationmusic.com](https://support.novationmusic.com)

のアップデートを確認することをお勧めします。Launch Control 最新の機能と修正が適用されます。  
を更新するには Launch Control のファームウェアを使用する必要があります。コンポーネント：

[components.novationmusic.com](https://components.novationmusic.com)

# Launch Control 3 ハードウェア概要

ここでは、Launch Control 3 の各コントロールの機能について解説します。DAW との連携に関しては [Launch Control 3 で DAW をコントロールする \[29\]](#)を、Launch Control 3 を DAW を使わずに使用する場合は [Launch Control 3 を DAW 以外で使用する \[23\]](#)をご参照ください。

## Launch Control 3 のトップパネル



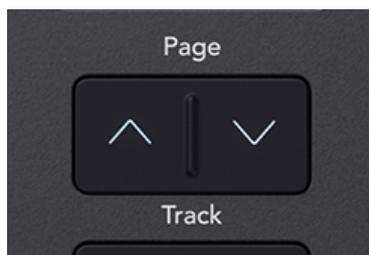
1. ディスプレイ - 重要な情報を分かりやすく表示します。
2. **Page ボタン** - Launch Control 3 をコントロールするためのページを切り替えます。利用可能なボタンは、LED が点灯します。[9][9]
3. **Track ボタン** - DAW 内のトラックを移動します。[10][10]  
**Settings [63]**にアクセスするには、カスタムモードを開き、両方の **Track <>** ボタンを 0.3 秒間押し続けます。
4. **Shift ボタン** - **Shift 機能およびプレビュー機能 ( Shift ボタンを押しながらコントロールを操作 )** を実行します。[10][10]

**Mode ボタン [11]** - Launch Control 3 がコントロールするモードを選択します。DAW Mixer、DAW Control、またはカスタムモードから選択可能です。

**Shift ボタンと Mode ボタン**を同時に押すと、**Mode Settings Edit [13]**メニューにアクセスできます。

5. **Function ボタン** - DAW モードで同列のボタンの動作を切り替えます。
6. **エンコーダー [15]** - 割り当て可能なエンコーダーによるコントロールを行います。
7. **ボタン [15] 1 - 8** - DAW モードでは **Solo / Arm** またはボタン、**カスタムモード [21]**では割り当て可能なボタンとして動作します。

## Page ボタンを使用する



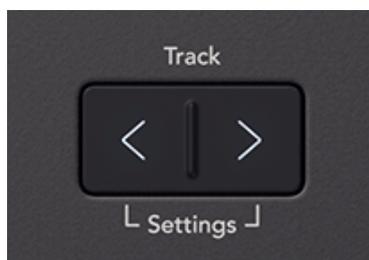
Launch Control 3 の左側にある **Page ▲▼** ボタンを使うと、メニュー画面のページを切り替えることができます。

利用可能なボタンは点灯し、ページが切り替え可能であることを示します。たとえば最初もしくは最後のページでは、片方のボタンのみが点灯します。

Page ボタンを押してページを切り替えると、ページ名がディスプレイに表示されます。

## Track ( Settings ) ボタン

Track <> ボタンは、Launch Control 3 の左側、Page ボタンの下に配置されています。



利用可能なボタンは点灯し、ページが切り替え可能であることを示します。たとえば最初もしくは最後のページでは、片方のボタンのみが点灯します。

Page ボタンを押してページを切り替えると、ページ名がディスプレイに表示されます。

## Settings

左右の Track <> ボタンを同時に 0.3 秒押し続けると、Settings メニューにアクセスできます。



### 注記

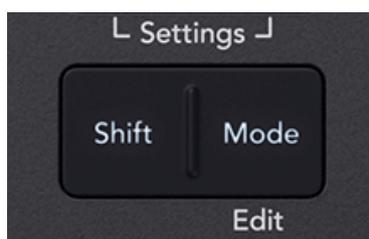
設定メニューはカスタムモードを使用している場合にのみアクセスできます。どちらの DAW モードでも、ボタンを使ってトラックナビゲーションを操作します。

詳細は、[Launch Control 3 の Settings \( 設定 \) ページ \[63\]](#)をご参照ください。

## Launch Control 3 の Shift ボタン

Shift ボタンを押すと、様々なボタンの二次的な機能にアクセスできます。Shift ボタンを押しながら二次機能を持つボタンを押すことで、該当する機能にアクセスできます。

シフト 3 番目のボタンペアの左側です。



**Shift** ボタンでコントロールのプレビューが可能です。**Shift** を押しながらコントロールを操作すると、実際の値を変更することなく現在の値を画面で確認できます。また、Shift ボタンを 2 回押してラッチすることもできます。



## ヒント

Shift ボタンを長押しすると、Shift 機能が利用できるすべてのボタンが点灯します。

## Mode ボタン

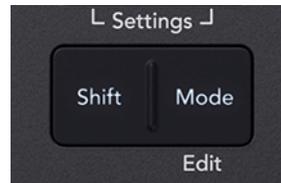
Mode ボタンを使うと、Launch Control 3 のモードを選択できます。選択するモードによって各コントロールの動作が決まります。

Launch Control 3 には 2 つの DAW モード ( **DAW Control** および **DAW Mixer** )、7 つのカスタムモード、1 つのデフォルトモード ( スロット 8 ) があります。

- DAW モードでは、お使いの DAW 用のプリセット・マッピングをお使い頂けます ( [Launch Control 3 で DAW をコントロールする \[29\]参照](#) )。
- カスタムモードでは、各コントロールの動作を編集できます ( [カスタムモード参照](#) )。 [21]

## モードを選択するには

1. **Mode** ボタンを押すと、モードが選択可能になります。



8のボタンが点灯し、モードが選択可能であることを示します。現在選択中のモードは白色に、その他は青色に点灯します。



2. 青色のボタンのいずれかを押すとモードが変更され、選択したモード名  
**Mode** はトグルボタンとして動作し、ボタンを1度押すことでアクティブな状態が保持されます。**Mode** ボタンがアクティブの間は複数のモードを何度も切り替えることができ、その他のコントロールも変更したモードに応じて更新されます。これにより各エンコーダーやフェーダーの機能を素早く切り替えることができます。  
DAW Controlと DAW Mixer のモードを切り替えるには、**Function (DAW)** ボタンを押します。
3. **Mode** ボタンを再び押すとモード選択が終了し、元の状態に復帰します。



### モードボタンを一時的に使用する

あなたは **モード** ボタンを押すと一時的にモード選択画面が表示されます。押し続けている間はモードの変更やコントロールの調整ができます。ボタンを離すと **モード** ボタンを押すと、モードは最後に押したボタンに変わります。

## カスタムモード設定を変更する

Shift を押しながら **Mode** ボタンを押すと、カスタムモードの編集メニュー (モード設定) にアクセスできます。Launch Control 3 の各カスタムモードには、それぞれ専用のモード設定メニューがあり、MIDI ポートとの連携方法を個別に設定できます。

カスタムモード設定メニューに入るには、**Shift ボタン**を押しながら **Mode ( Edit )** ボタンを押します。

**Mode** ボタンを再度押すと、カスタムモード設定メニューを終了できます。

- **Page ▲▼** ボタンを押すと、設定項目が切り替わります。
- **Track <>** ボタンを押すと、設定値を変更できます。

以下の設定は、カスタムモードごとに変更できます。選択中のカスタムモードのボタンは白く点灯します。カスタムモード・ボタンを押すことで、編集するカスタムモードを切り替えることができます。

項目	値の範囲	説明	デフォルト値
マージ	On Off	<b>の上</b> 入力された MIDI データをサーフェスで生成された MIDI とマージすることができます ( コントロールを Launch Control 3 ) として保存され、そのカスタムモードの MIDI 出力に送信されます。	の上
マージフィルター	Off 第 1 章 - 第 16 章	そのカスタムモードのサーフェス生成 MIDI とマージする MIDI 入力チャンネルを設定します。 <b>オフ</b> すべての受信 MIDI 入力チャンネルをそのカスタムモードのサーフェス生成イベントとマージできるようになります。	オフ
マージアウト Ch	入力として 第 1 章 - 第 16 章	カスタムモードの MIDI データと着信 MIDI データが送信される MIDI チャンネルを設定します。 <b>入力として</b> 受信した MIDI データのチャンネルは変更されません。	入力として
Output Port	USB DIN 1 DIN 2 All	カスタムモードが MIDI データを送信するポートを設定します。 <b>All は、MIDI データを USB と DIN ポートの両方に送信します。</b> マージがオンの場合、MIDI データは <b>で</b> ポートは選択した送信ポートにも送信されます。	All



## 重要

MIDI スルー設定は、[設定メニュー \[63\]](#)は、カスタム モードの設定よりも優先されます。

設定メニューで MIDI スルーを有効にすると、MIDI で ポートは MIDI に送信されます  
**アウト 2/スルー** カスタムモードの設定に関係なく。

アクティブなカスタム モードが DIN 2 またはすべての出力に設定され、MIDI スルーが有効になっている場合、カスタム モードからのデータはマージされず、出力 DIN 2 から送信されません。

## Launch Control 3 のエンコーダーを使用する

Launch Control 3 は、8 個ずつの列で合計 16 のエンドレス・エンコーダーを備えます。各エンコーダーは LED を備え、モードに応じて点灯します。

エンコーダーを回すと、該当するパラメータ名と値がディスプレイに表示されます。**Shift** を押しながらエンコーダーを回すと、値を変えずにパラメータ名をディスプレイで確認できます。

エンコーダーは複数のモードを切り替えて使用でき、様々なパラメータを同時にコントロールできます。お使いの DAW に対応したモードや、操作したいパラメータを好みにカスタマイズ可能なカスタムモードも使用できます。



エンコーダーモードの詳細は、以下をご参照ください。

- [Launch Control 3 で DAW をコントロールする \[29\]](#)
- [Launch Control 3 でカスタムモードを使用する \[21\]](#)



### ヒント

エンドレス・エンコーダーは、連続的に回転するロータリー・ノブです。そのため、モードやトラックを切り替えたときにパラメータ値がジャンプする心配はありません。パラメータは、DAW や接続デバイスと常に同期されます。

## Launch Control 3 のボタンを使用する

Launch Control 3 の下部には、10 個のボタンが 1 列に並んでいます。



あなたの Launch Control 3 DAW をコントロールする場合、ボタンは **ソロ**、**アーム**、**ミュート**、または **選択** ボタン。左端のボタンで設定を切り替えます。詳細については、以下のセクションをご覧ください。

- [Solo モード \[16\]](#)
- [Arm モード \[16\]](#)
- [Mute モード \[17\]](#)
- [Select モード \[17\]](#)

DAW を使用しない場合は、8 ボタンに MIDI ノートや CC、プログラムチェンジ、NRPN、キーストロークなどのカスタムメッセージを割り当てて送信することができます。

詳細は、[Launch Control 3 でカスタムモードを使用する \[21\]](#)をご参照ください。

## Function ( DAW ) ボタンを使用する

Launch Control 3 の Function ボタンを使用すると、エンコーダーやボタンの DAW モードを切り替えることができます。

DAW モードを切り替えるには、Mode ボタンを押す、または長押しした状態で Function を押します。これにより以下のモードが順に切り替わります。

- DAW コントロール
- DAW Mixer

### Solo モード

Solo モードでは、ボタンを押すと該当する DAW のトラックがソロ状態に切り替わります。

### Arm モード

Arm モードでは、ボタンを押すと該当する DAW のトラックが録音アーム状態に切り替わります。

## **Mute モード**

Mute モードでは、ボタンを押すと該当する DAW のトラックがミュート状態に切り替わります。

## **Select モード**

Select モードでは、ボタンを押すと該当する DAW のトラックが選択されます。

各ボタンは DAW のトラックの色に点灯します。トラックを選択すると、ボタンが白に点灯します。

## Launch Control 3 のリアパネル



1. **USB** - Launch Control 3 を付属の USB ケーブルでコンピュータに接続するための USB Type-C ポート。 [19][19]
2. **MIDI Out2/Thru** ポート - 5 ピン MIDI DIN コネクタ。MIDI Out と独立して MIDI メッセージを送信、もしくは MIDI In の入力 MIDI 信号をスルー出力します。 [18][18]
3. **MIDI Out** - 外部 MIDI ハードウェアに接続するための 5 ピン MIDI DIN コネクタ。 [18][18]
4. **MIDI In** - 外部 MIDI ハードウェア ( MIDI キーボードなど ) から Launch Control 3 への MIDI データを受け取るための 5 ピン MIDI DIN コネクタ。 [18][18]
5.  - ケンジントンロック。Launch Control を固定し、盗難から守ります。

### Launch Control 3 の MIDI ポートを使用する

MIDI ポートを使用すると、Launch Control 3 をハードウェア・セットアップやハイブリッドなセットアップに組み込むことができ、シンセサイザーやドラムマシン、グローブボックスのフィジカル・コントローラーとして使用できます。



#### MIDI In

5 ピン MIDI DIN ポート **In** を使うと、MIDI 対応機器から Launch Control 3 に MIDI データを送信できます。

Launch Control 3 の MIDI 入力に MIDI キーボードを接続し、複数のハードウェアをコントロール、Launch Control 3 の MIDI ラーン機能を使用、

詳細は、 [Launch Control 3 を DAW 以外で使用する \[23\]](#)

## MIDI 出力

MIDI Out ポートを使うと、MIDI 入力を備えるハードウェアに対して Launch Control のエンコーダーやフェーダー、ボタンから MIDI メッセージを送信できます。

MIDI 出力ポートを使うことで、シンセサイザーやドラムマシン、グルーヴボックスなどのハードウェアにコントロールを追加できます。またハードウェア本体のメニューを操作せずにパラメータを直接変更できます。

詳細は、 [Launch Control 3 を DAW 以外で使用する \[23\]](#)

## MIDI Out 2/Thru

The MIDI Out 2/Thru ポートは、2 つ目の MIDI 出力、または MIDI thru ポートとして機能します。この動作は [Settings メニュー](#) で設定できます。 [\[63\]\[63\]](#)

- MIDI Out 2 モードでは、このポートは MIDI Out と同様の動作をします。MIDI 入力を備えるハードウェアに MIDI メッセージを送信できます。

以下の場面で有効です。

- MIDI Out とは独立して外部ハードウェアへ MIDI メッセージを送信したい場合。たとえば、1 台を MIDI Out に、もう 1 台を MIDI Out 2 に接続することで、2 つのカスタムモードを使って 2 台の機器をコントロールすることができます。
- MIDI Thru モード - Launch Control 3 の MIDI In DIN ポートに入力された MIDI メッセージをそのままスルー出力します。

以下の場面で有効です。

- Launch Control 3 が他の MIDI 機器とチェーン接続されており、たとえばキーボードからの MIDI メッセージを 2 台の機器に送信する必要がある場合。1 台は Launch Control 3 で制御され MIDI Out ポートに接続、もう 1 台はキーボードからの MIDI 信号を Launch Control 3 の MIDI Thru ポート経由で制御する、という構成。

詳細は、 [Launch Control 3 を DAW 以外で使用する \[23\]](#) をご参照ください。

## USB ポート

Launch Control 3 は、コンピュータまたは USB MIDI ホストに接続するための **USB 2.0 Type-C** ポートを備えます。

USB ポートは、主に以下の用途で使用されます。

- コンピュータ接続時、またはスタンドアロン・モード時に Launch Control 3 に電源を供給。

- MIDI データを DAW や MIDI アプリケーション、または USB MIDI ホストとの間で送受信します。
- Components 経由でファームウェア・アップデートのインストール、カスタムモードの管理。

## USB から DIN MIDI

あなたの Launch Control 3 MIDI インターフェイスとして機能し、2 つの DIN MIDI 出力を介してコンピューター (シーケンサーや DAW など) から外部ハードウェアに MIDI データを送信できます。

コンピュータ上の USB MIDI デバイスは各 MIDI DIN ポートを個別に表示するため、各ポートに MIDI メッセージを送信できます。



### 重要

Out 2/Thru ポートは Thru 設定に従います。設定メニューで MIDI Thru がオンになっている場合、DIN Out 2 に送信されたデータは出力されません。

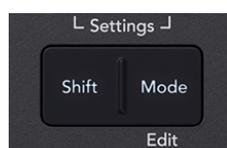
カスタムモードの設定は MIDI データには影響しません。カスタムモードを DIN ポートに出力するように設定し、同じポートに USB データを送信すると、Launch Control 3 データを結合します。

# Launch Control 3 でカスタムモードを使用する

カスタムモードは、用途に合わせて Launch Control 3 のコントロールをパーソナライズできる機能です。様々な MIDI データ ( ノート、CC、キーストロック、プログラムチェンジ ) を送信し、ソフトウェアやハードウェア、その他の MIDI 機器をコントロールできます。

## カスタムモードにアクセスするには

1. **Mode ボタンを押すと、モードが選択可能になります。**



8 のボタンが点灯し、モードが選択可能であることを示します。現在選択中のモードは白色に、その他は青色に点灯します。



2. 青色のボタンのいずれかを押すとモードが変更され、選択したモード名
3. を押します モード もう一度ボタンを押します。



### 注記

モード 8 は デフォルトのモード として固定されているため、編集することはできません。 [67][67]

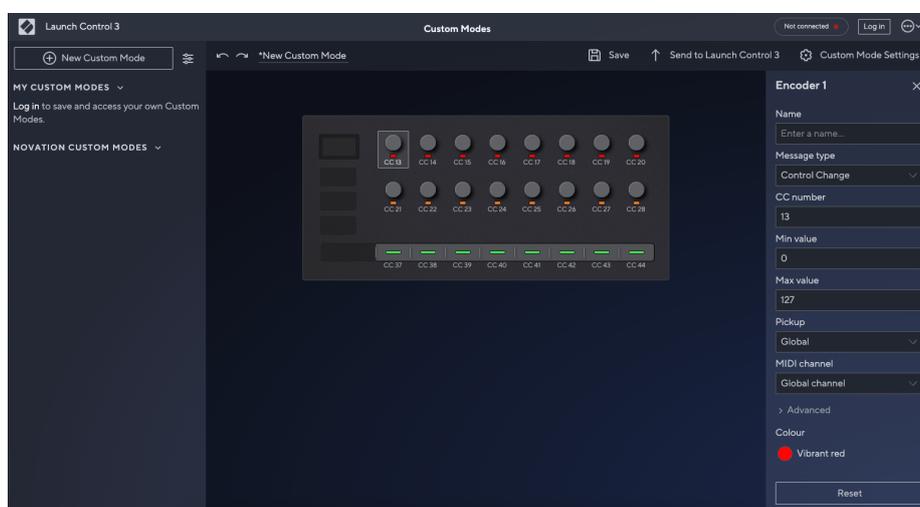
## Novation Components で Launch Control 3 のカスタムモードを作成する

Novation Components (ウェブ版およびスタンドアローン版)では、Launch Control 3 のファームウェアの更新や、カスタムモードの作成 / 編集 / 保存 / 読み込みが行えます。

Components を使用 / ダウンロードするには、以下にアクセスします。

[components.novationmusic.com](https://components.novationmusic.com) <https://components.novationmusic.com/>

Launch Control 3 をコンピュータに接続していなくてもカスタムモードの作成は可能であり、後でコンピュータに送信することもできます。



## Launch Control 3 を DAW 以外で使用する

Launch Control 3 は DAW と連携するだけでなく、USB ポートおよび MIDI Out ポートから MIDI データを送信することで、DAW 以外の MIDI 対応ソフトウェアや外部ハードウェアと連携できます。

Launch Control を音楽系以外の用途にも活用できます。

Launch Control 3 から MIDI データを送信するには、カスタムモードを使用する必要があります。

カスタムモードでは、MIDI CC やノート、プログラム・チェンジ、NRPN



### 注記

各コントロール毎に異なる種類の MIDI メッセージを割り当てることができます。

本体の

- エンコーダー
- ボタン



### 注記

本章では、利用可能な接続 / セットアップ方法の一例を紹介しています。シンセサイザー、ドラムマシン、照明用ソフトウェア、音響編集ソフトウェアなど、実際にお使いになる機器やソフトウェアの動作は製品によって異なります。本章の内容を踏まえた上で、お使いの機器の各ユーザーガイドを併せてご参照ください。



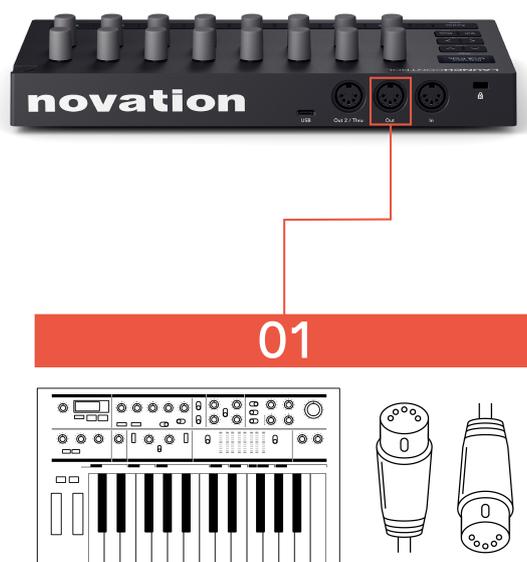
### 重要

以下の例は、DAW 外での Launch Control 3 の使用例を示していますが、電源に接続する必要があります。Launch Control 3 には、コンピュータから、または USB 電源から給電できます。

## Launch Control 3 で外部機器をコントロールする

外部機器をコントロールする際の最もシンプルなセットアップは、Launch Control 3 と 1 台の外部機器を 1 本の MIDI ケーブルで接続する接続方法です。

操作したいハードウェアにノブやフェーダーなど物理的なコントロールが搭載されていない場合や、より多くのコントロールを追加したい場合。



1. 図の例では、本体の Launch Control 3 MIDI **Out** がシンセサイザーの **MIDI In** に接続されています。

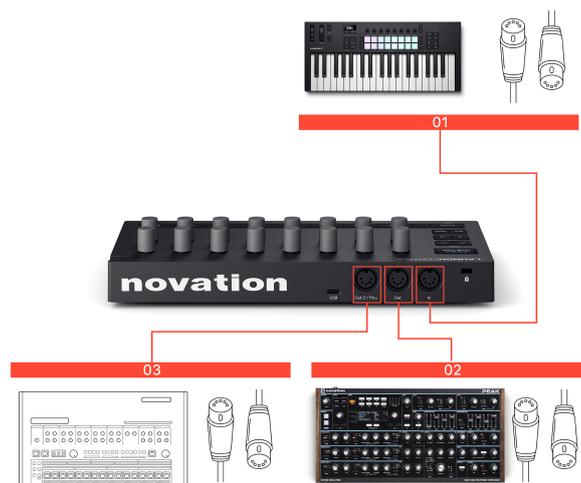
Launch Control 3 から出力された MIDI データが 1 本の MIDI ケーブルでシンセなどの外部機器に送信されます。

このセットアップでは、以下の点に留意してください。

- Launch Control 3 の各コントロールは、設定された MIDI チャンネルに対して MIDI メッセージを送信します。各コントロールに異なる MIDI チャンネルを設定することも可能です。
- Launch Control 3 の各コントロールに対して適切なメッセージタイプと値の範囲を設定する必要があります。送信すべき MIDI メッセージの詳細は、接続先の MIDI 機器のユーザーガイドに記載されている MIDI インプリメンテーション・チャートをご参照ください。

## Launch Control 3 で複数の機器をコントロールする

図のセットアップ例では、Launch Control 3 が 2 台の機器をコントロールします。Launch Control の各コントロールは、カスタムモード 1 でシンセサイザーを、カスタムモード 2 でドラムマシンを操作できるように設定されています。さらに MIDI In ポートに MIDI キーボードが接続されており、Launch Control 3 の MIDI マージ機能 ( [Settings](#) 参照 ) を用いて MIDI キーボードでの演奏データをシンセサイザーに直接送信しています。[63][63]



1. MIDI In ポートには MIDI キーボードからの MIDI 信号が入力されます。

Launch Control に入力された MIDI メッセージは、カスタムモード 1 では MIDI Out ( DIN1 ) から、カスタムモード 2 では MIDI Out 2 からスルー出力されます。MIDI ルーティングの設定は、各カスタムモードの [Custom Mode Edit](#) メニューにある [Ext. MIDI In](#) および [Output Port](#) 設定で行います。これにより、MIDI キーボードでシンセを演奏しながら Launch Control 3 でシンセのその他のコントロールを同時に行うことができます。



### ヒント

MIDI キーボードを任意の MIDI チャンネルに設定し、Launch Control 3 のカスタムモード設定で異なる MIDI チャンネルに変換することも可能です。カスタムモードを切り替えることで、受信された MIDI データはそのカスタムモードに応じた MIDI チャンネルに自動的に切り替わります。

2. MIDI Out ポートからは、シンセサイザーに MIDI メッセージが送信されます。

シンセサイザーを MIDI チャンネル 1 ( 例 ) に設定し、エンコーダーとフェーダーでシンセサイザーをコントロールできるようにカスタムモードを設定します。エンコーダーを周波数や LFO に、フェーダーを ADSR エンベロープなどに割り当てると良いでしょう。

また本体下部のボタンをオシレーター波形の切り替えや、エフェクトのバイパスなどに割り当てることも可能です。

3. **MIDI Out 2/Thru ポートからは、ドラムマシンに MIDI メッセージが送信されます。**

2 台目のシンセサイザーを接続することももちろん可能ですが、ここではドラムマシンを用いたセットアップを紹介します。まず**カスタムモード 2 の Output Port を DIN 2**([カスタムモード設定を変更する \[13\]](#)参照) に設定し、各コントロールをドラムマシンに合わせて調整します。エンコーダーを各ドラムチャンネルのピッチ、ディケイ、メインレベルなどに設定すると良いでしょう。

Launch Control 3 のボタンをノートに設定し、各ドラム音のトリガーやミュートに設定することも可能です。



### 注記

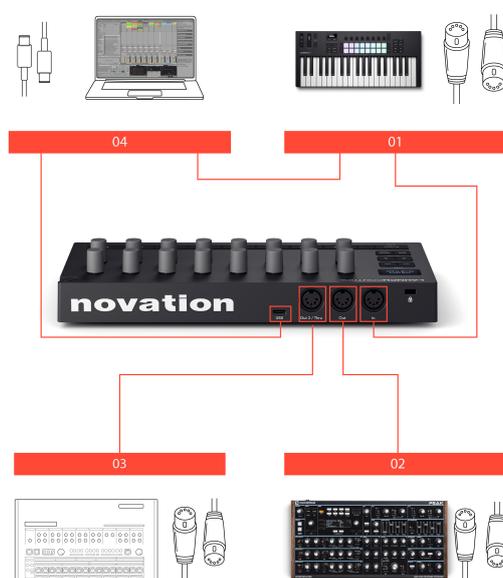
コントロールする対象機器を変更するには、別のカスタムモードに切り替えます。各カスタムモードは、MIDI 信号を受信する機器の MIDI チャンネルに合わせて設定してください。

## Launch Control 3 をハイブリッドなセットアップで使用する

コンピュータとハードウェアを組み合わせたセットアップの場合、Launch Control 3 はコントローラーであると同時に MIDI ルーターとして機能します。

MIDI キーボードを Launch Control 3 の MIDI In ポートに接続した状態でカスタムモードを切り替えることで、MIDI キーボードからの入力 MIDI データが Launch Control 3 のコントロール情報とマージされ、選択中のカスタムモードに対応するハードウェア機器に送信することができます。

また Ableton Live などのソフトウェアに MIDI キーボードと Launch Control 3 を接続することで、ソフトウェアや DAW セッションのサウンドをハードウェアと同時に鳴らすことができます。



1. MIDI キーボードが Launch Control 3 の MIDI In ポートに接続されています。  
MIDI キーボードを Launch Control 3 経由でシンセに接続することで、MIDI キーボードで演奏した MIDI 信号を Launch Control 3 のいずれかの MIDI Out ポートにルーティングできます。たとえば図の例の場合、カスタムモード 1 を DIN Out に設定することで、MIDI キーボードと Launch Control 3 での操作の両方で Peak をコントロールできます。さらにカスタムモード 2 を DIN Out 2 に設定すると、カスタムモード 2 を選択した時点で MIDI キーボードと Launch Control 3 の両方が DIN Out 2 に接続されたドラムマシンをコントロールようになります。
2. シンセサイザー ( 図の例では Peak ) が Launch Control 3 の MIDI Out ポートに接続されています ( MIDI 入力ポートを備えるすべての MIDI 機器を使用できます )
3. ドラムマシンが Launch Control 3 の MIDI Out 2 ポートに接続されています ( MIDI 入力ポートを備えるすべての MIDI 機器を使用できます )
4. このセットアップ例では、MIDI キーボードと Launch Control 3 が USB 経由でコンピュータにも接続されています ( ハイブリッド・セットアップ )

これにより、DAW をワークフローに取り入れ、ソフトウェア音源や録音済みのミックス素材などをハードウェア楽器と組み合わせて使用することが可能になります。MIDI キーボードを使って DAW セッションを演奏 / 操作したり、Launch Control 3 の DAW モードを駆使して、DAW セッションを直感的にコントロールすることができます。



## ヒント

Launch Control 3 の 3 つの MIDI ポートと USB 接続を活用することで、ハードウェア、ソフトウェアまたはハイブリッドの様々なセットアップを構築できます。

## Launch Control 3 を音楽以外の用途に使用する

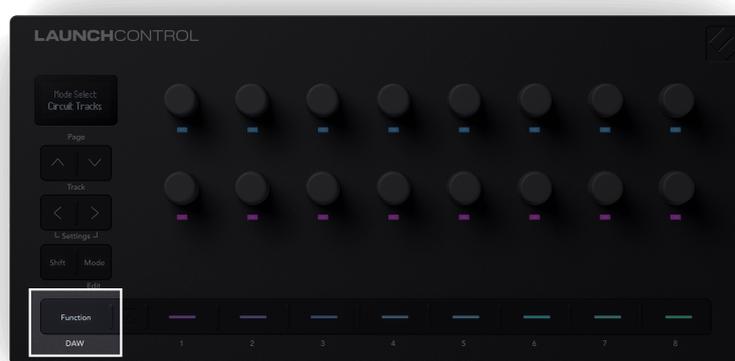
Launch Control 3 は音楽制作向けに作られていますが、MIDI を介して様々な非音楽系ソフトウェアをコントロールすることもできます。カスタムモードでルーティングを自由に設定し、ノブボタンにお使いの MIDI 対応ソフトウェアやハードウェアのパラメータを割り当てることができます。以下はその一例です。

- Resolume などの映像用ソフトウェア。
- 照明用ソフトウェアまたは MIDI 入力対応 DMX ミキサー。
- その他のクリエイティブ系ソフトウェア ( Adobe Lightroom や Premiere Pro など )

# Launch Control 3 で DAW をコントロールする

Launch Control は、様々な DAW ( デジタル・ オーディオ・ ワークステーション ) に対応しており、エンコーダーやフェーダー、ボタンを使って DAW の主要な機能をコントロールできます。

エンコーダーには、「DAW コントロール」モードと「DAW ミキサー」モードの 2 つのモードがあり、左下にある 2 つのボタンを Shift ボタンと同時に押すことでモードを切り替えることができます。



Launch Control 3 を DAW に接続すると、エンコーダーは DAW Mixer モードに切り替わります。

## Launch Control 3 で Ableton Live

本章では、Launch Control 3 と Ableton Live の連携について解説します。

### Launch Control 3 を Ableton Live に接続する

Ableton Live に接続すると、Launch Control 3 はコントロールサーフェスとして自動的にセットアップされます。



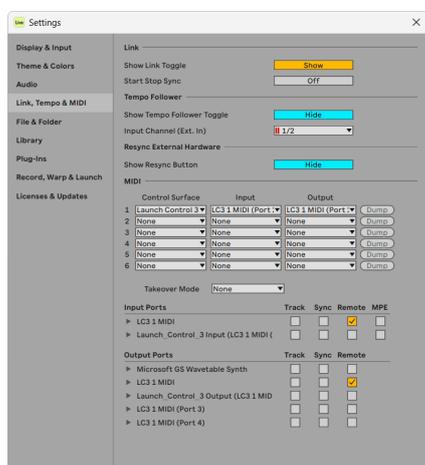
#### 重要

Ableton Live では、Launch Control 3 は Live 12 以降でのみサポートされています。旧バージョンの Ableton Live では、本機を汎用的な MIDI コントローラーとして使用することは可能ですが、本章で解説する機能には対応しません。

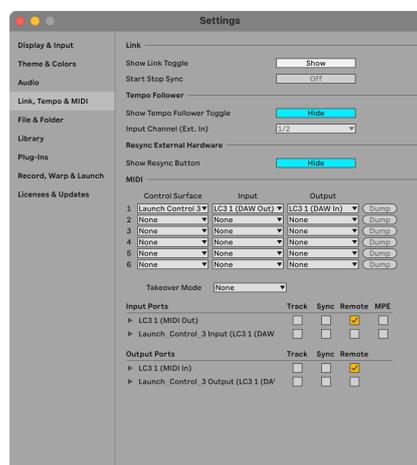
Launch Control 3 が自動で検出されない場合は、環境設定の **Link, Tempo & MIDI** タブでセッティングを行ってください。

1. メニューから以下を選択します。
  - Windows : オプション > 環境設定 > **Link, Tempo & MIDI**
  - macOS : Live > 環境設定 > **Link, Tempo & MIDI**
2. Control Surface で Launch Control 3 を選択します。
3. 入力および出カドロップダウン・メニューで LC3 In および LC3 Out を選択します。  
macOS では **DAW Out** および **DAW In**、Windows では **Port 2 (MIDI IN2)** を選択してください。
4. Settings ウィンドウを閉じます。

下のスクリーンショットは、正しい設定がなされた環境設定画面の様子です。



Windows



macOS

## Track ボタンを用いた Ableton Live のナビゲーション

Track ボタンを押すと、Ableton Live の選択トラックを前後に変更できます。

Shift ボタンを長押しすると Track ボタンが点灯し、トラックの移動が行えることを示します。たとえばトラック 1 を選択中の場合、前のトラックには移動できないため Track ボタンは点灯しません。

Shift ボタンを押しながら Track ボタンを押すことで、8トラック単位でトラックを移動することができます。このナビゲート方法を使うことで、リターン・トラックにも素早くアクセス可能です。

## Ableton Live でプレビュー機能を使用する

Shift ボタンでコントロールのプレビューが可能です。Shift を押しながらコントロールを操作すると、実際の値を変更することなく現在の値を画面で確認できます。また、Shift ボタンを 2 回押してラッチすることもできます。



## ヒント

Launch Control 3 では、すべてのモードでコントロール名のプレビューが可能です。

## Ableton Live でエンコーダーを使用する

Launch Control 3 では、2 種類の DAW エンコーダーモードを選択できます。

モードを変更するには、**モード** として押す **関数** 画面に DAW コントロールまたは DAW ミキサーが表示されます。**モード** もう一度押すとモード選択が終了します。

エンコーダーモードを切り替えると、エンコーダーがマッピングされたパラメータが切り替わります。このときフェーダーとボタンの割り当ては変更されず、常に同じコントロールが行えます。

## DAW Mixer エンコーダーモード

DAW Mixer モードでは、Shift ボタンを押しながら **Page** ボタンを押すことで、1 列目のエンコーダーで DAW のパンやセンドをコントロールできます。

2 列目のエンコーダーは、常にミキサーボリュームをコントロールします。

## DAW Mixer モードで Ableton Live のパンをコントロール

で **DAW ミキサー** モードでは、上部のエンコーダー行で現在のトラック バンクのパンを制御します。

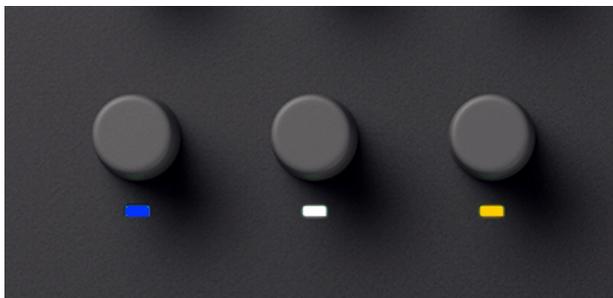


パン・エンコーダーを回すと、該当するトラック名とパンポジション (L=左、C=センター、R=右) がディスプレイに表示されます。

```
1 - 909 Core kit
Pan
50L - C - 50R
```

エンコーダーの LED は、パンのポジションに応じて点灯する色が変わります。

1. 青色に点灯 = 左。
2. 白色に薄く点灯 = センター。
3. オレンジ色に点灯 = 右。



### DAW Mixer モードで Ableton Live のセンドをコントロール

で **DAW ミキサー モード**、ホールドシフトそして、ページ下ボタンを押すと、上部のエンコーダー一行から送信コントロールにアクセスできます。



エンコーダーの LED が Ableton Live のセンドノブの色に合わせて青色に点灯します。

ページ ボタンを使用すると、さまざまな送信を移動できます。

センドを変更すると、該当するセンド名がディスプレイに表示されます。

### DAW Mixer モードでボリュームをコントロール

**DAW Mixer** モードでは、2 列目のエンコーダーで常に現在のトラックバンク (8トラック) のフェーダーボリュームをコントロールします。



## Ableton Live DAW Control エンコーダーモード

DAW Control モードでは、各列のエンコーダーで Ableton Live の以下のパラメータをコントロールできます。

1. デバイス・コントロール 1~8 - 現在選択中のデバイスをコントロールします。
2. デバイス・コントロール 9~16 - 現在選択中のデバイスをコントロールします。



### ABLETON LIVE のデバイスとは？

Ableton Live の各トラックには、複数のデバイスを挿入することができます。デバイスには、MIDI エフェクト、オーディオエフェクト、インストゥルメントの 3 つの種類があります。

詳細は、こちらの [Ableton Live ユーザーガイド](#) をご参照ください。

## Ableton Live デバイスのエンコーダーによるコントロール



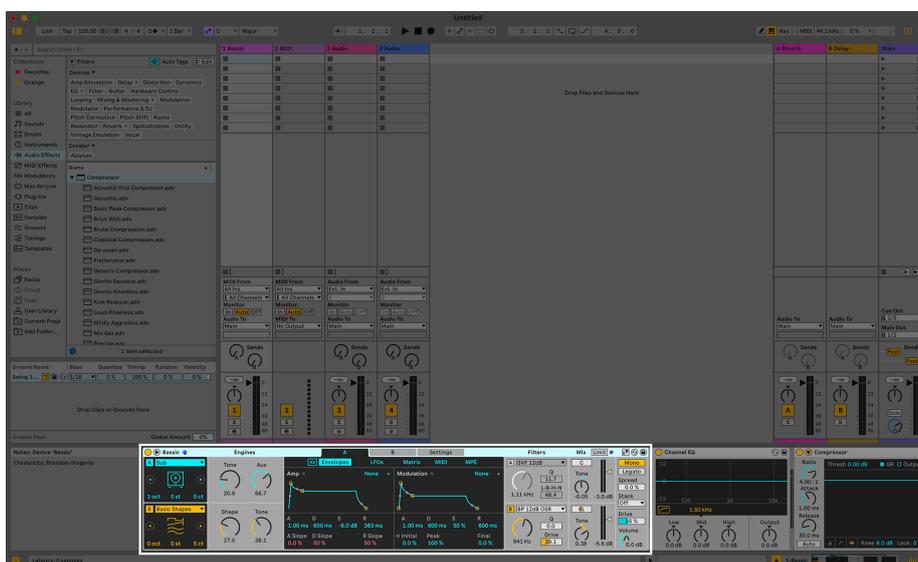
### ヒント

Ableton Live の各トラックには、複数のデバイスを挿入することができます。デバイスには、MIDI エフェクト、オーディオエフェクト、インストゥルメントの 3 つの種類があります。

- MIDI エフェクトは、MIDI トラックで扱われる MIDI 信号に効果を与えます。
- オーディオエフェクトは、オーディオ信号に効果を与えます。
- インストゥルメントは MIDI トラックに配置され、受け取った MIDI 信号から音声信号を生成し、出力します。

詳細は、こちらの [Ableton Live ユーザーガイド](#) をご参照ください。

Launch Control 3 が DAW Control モードのとき、上 2 列のエンコーダーは選択中のデバイス内の 16 個のコントロールにマッピングされます。



上の例では、Launch Control 3 がハイライトされたデバイスをコントロールしています。

デバイスに 16 以上のパラメータがある場合は、**Page** ボタンを押すことで、コントロールするパラメータを切り替え可能です。

### デバイス間の移動

トラックに複数のデバイスが配置されている場合は、**Shift** ボタンを押しながら **Page** ボタンを押すことで、選択デバイスを前後に切り替えることができます。



## ヒント

選択中のデバイスウィンドウ上部 ( トップバー ) には、青色の小さな手のアイコン 

## Ableton Live でボタンを使用する

各列一番左のボタンを押すことで、各ボタン列の機能を切り替えることができます。

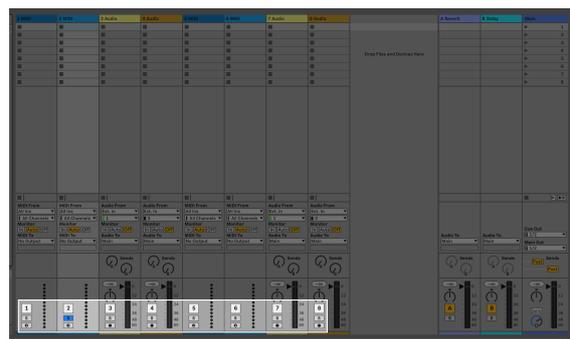


## Solo モード

Solo モードでボタンを押すと、該当するトラックがソロ状態になります。



トラック 2 がソロに設定された様子。



Live では、トラック 2 がソロになっています。

Solo モードではボタンが青色に点灯します。ソロ状態のトラックは明るい青色、ソロでないトラックは薄い青色に点灯します。



## ヒント

Ableton Live プロジェクトがソロモードではなくキューモードの場合は、**Solo 機能**でトラックキューのオン / オフを切り替えられます。キュー機能を使うことで、個別のキュー出力からトラックをプレビューすることができます。

詳細は、Ableton Live ユーザーマニュアルの「ソロとキュー」の項をご参照ください。

## Arm モード

(録音) アームモードでフェーダーボタンを押すと、トラックのアームをオン/オフできます。



トラック 3 が録音アームに設定されている様子。



Ableton のトラック 3 はレコードアームされています。

アームモードでは、フェーダーボタンが赤色に点灯します。トラックがアームされていない場合は薄い赤に、トラックがアームされている場合は明るい赤に点灯します。

## Mute モード

Mute モードでは、下の列のボタンが各トラックのミュート状態を表示します。ボタンを押すことで該当するトラックのミュートをオン/オフできます。



トラック 4、7、8 がミュートされている様子 ( ボタン 12、15、16 が薄く点灯 )。



トラック 4、7、8 は Live でミュートされています。

**Mute モード**では、ボタンがオレンジ色に点灯します。アクティブなトラック ( ミュートがオフ ) は明るいオレンジ色に、ミュート状態のトラックは薄いオレンジ色に点灯します。

## Select モード

**Select モード**では、ボタンで DAW のトラックを選択でき、各デバイスの詳細なコントロールが行えます。



**Select モード**では、各ボタンが Ableton Live の該当するトラックと同じ色に点灯します。



Ableton Live の各トラックの色。

セレクトモードでは、フェーダーボタンがトラックの色に点灯します。選択中のトラックは、白く点灯します。

選択中のトラックは明るく点灯し、その他のトラックは薄暗く点灯します。

トラックを選択すると、トラック名がディスプレイに一時的に表示されます。

## Launch Control 3 で Logic Pro

本章では、Launch Control 3 と Logic Pro の連携について解説します。

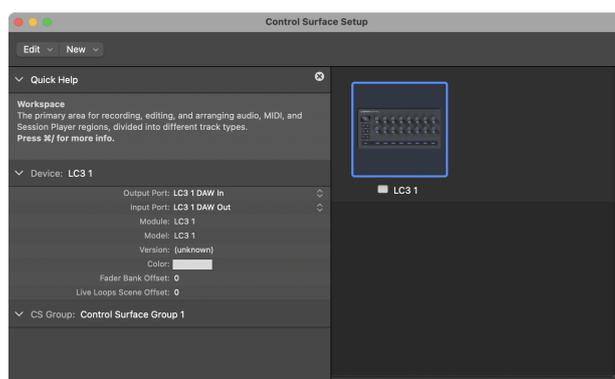
### Launch Control 3 を Logic Pro に接続する

スクリプトをインストール後に Launch Control 3 を Logic Pro に接続すると、コントロールサーフェスとして自動的にセットアップされます。

Launch Control 3 が自動的に検出されなかった場合は、コントロールサーフェス設定でセットアップを行う必要があります。

1. 以下のページから Logic Pro 用 Launch Control 3 スクリプトをダウンロードします。  
[downloads.novationmusic.com](https://downloads.novationmusic.com)  
コンピュータのダウンロードフォルダにダウンロードされたスクリプトをインストールします。
2. Logic Pro を起動すると、自動的にセットアップが行われます。  
セットアップが自動で行われなかった場合は、以下のメニューを選択してください。
  - a. Logic Pro (メニューバーのトップ)
  - b. コントロールサーフェス
  - c. 設定
3. ウィンドウ右側の Launch Control 3 をクリックします。
4. 入力および出カドリップダウン・メニューで LC3 In および LC3 Out を選択します。
5. コントロールサーフェイス設定ウィンドウを閉じます。

正しくセットアップされていると、MIDI 設定は以下の様になります。



### Track ボタンで Logic Pro のナビゲーションを行う

Track ボタンを押すと、Logic Pro の選択トラックを前後に変更できます。

トラックを移動すると、のディスプレイに移動したトラック名が一時的に表示されます。

Selected Track  
Track 1's Name

Shift ボタンを長押しすると Track ボタンが点灯し、トラックの移動が行えることを示します。たとえばトラック 1 を選択中の場合、前のトラックには移動できないため Track ボタンは点灯しません。

## Logic Pro でプレビュー機能を使用する

Shift ボタンでコントロールのプレビューが可能です。Shift を押しながらコントロールを操作すると、実際の値を変更することなく現在の値を画面で確認できます。また、Shift ボタンを 2 回押してラッチすることもできます。



### ヒント

Launch Control 3 では、すべてのモードでコントロール名のプレビューが可能です。

## Logic Pro でエンコーダーを使用する

Launch Control 3 では、2 種類の DAW エンコーダーモードを選択できます。

モードを変更するには、モードそして押す 関数画面に DAW コントロールまたは DAW ミキサーが表示されます。モード もう一度押すとモード選択が終了します。

エンコーダーモードを切り替えると、エンコーダーがマッピングされたパラメータが切り替わります。このときフェーダーとボタンの割り当ては変更されず、常に同じコントロールが行えます。

### DAW Mixer エンコーダーモード

DAW Mixer モードでは、Shift ボタンを押しながら Page ボタンを押すことで、1 列目のエンコーダーで DAW のパンやセンドをコントロールできます。

2 列目のエンコーダーは、常にミキサーボリュームをコントロールします。

### DAW Mixer モードで Logic Pro のパンをコントロール

で DAW ミキサー モードでは、上部のエンコーダー行で現在のトラック バンクのパンを制御します。

パンの操作中は、エンコーダーが赤色に点灯します。



パン・エンコーダーを回すと、該当するトラック名とパンポジション (L=左、C=センター、R=右) がディスプレイに表示されます。

```
1 - 909 Core kit  
Pan  
50L - C - 50R
```

### DAW Mixer モードで Logic Pro のセンドをコントロール

で DAW ミキサー モードでは、ページ 下ボタンを押すと、上部のエンコーダー行から送信コントロールにアクセスできます。

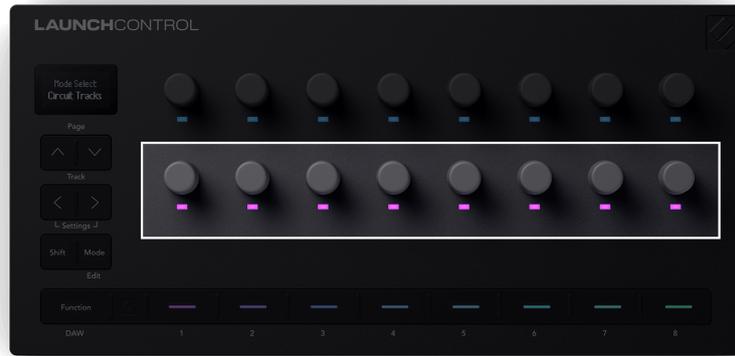


DAW で 2 つ以上のセンドを設定している場合は、**Page ボタン**を押すことで目的のセンドを切り替えることができます。

センドを変更すると、該当するセンド名がディスプレイに表示されます。

### DAW Mixer モードでボリュームをコントロール

DAW Mixer モードでは、2 列目のエンコーダーで常に現在のトラックバンク (8トラック) のフェーダーボリュームをコントロールします。



## Logic Pro での DAW Control エンコーダーモード

DAW Control モードでは、各列のエンコーダーで Logic Pro の以下の設定をコントロールできます。

エンコーダーの列

1. 現在選択されているプラグインのスマート コントロール。
2. Logic EQ コントロール。

## DAW Control モードでの Logic Pro Smart Control および EQ コントロール

一番上のエンコーダー行は、現在のプラグインの Logic Pro のスマート コントロールを制御します。

プラグインまたはインストゥルメントが 8 つ以上の Smart Control を備える場合は、エンコーダーバンク・ボタンでページを切り替えることができます。

エンコーダーを回すと、トラック名、パラメーター、値がディスプレイに表示されます。





## ヒント

Smart Control は、Logic Pro 画面の左上の Smart Control ボタン、またはキーボード・ショートカット「B」でアクセスできます。



## EQ エンコーダー・コントロール



Mixer EQ モードを使うと、選択トラックに EQ プラグインを追加できます ( インサートされていない場合 )。

EQ ミキサーモードを有効にすると、各エンコーダーに Logic Pro の EQ パラメーターが割り当てられます。



エンコーダー	パラメータ	ディスプレイ表示名
1	バンド 2 周波数	Low Shelf
2	バンド 2 ゲイン	Low Shelf
3	バンド 4 周波数	Low Mid
4	バンド 4 ゲイン	Low Mid
5	バンド 6 周波数	High Mid
6	バンド 6 ゲイン	High Mid
7	バンド 7 周波数	High Shelf
8	バンド 7 ゲイン	High Shelf

## Logic Pro でボタンを使用する

各列一番左のボタンを押すことで、各ボタン列の機能を切り替えることができます。



## Solo モード

Solo モードでボタンを押すと、該当するトラックがソロ状態になります。



トラック 2 がソロに設定された様子。



トラック 2 は Logic でソロになっています。

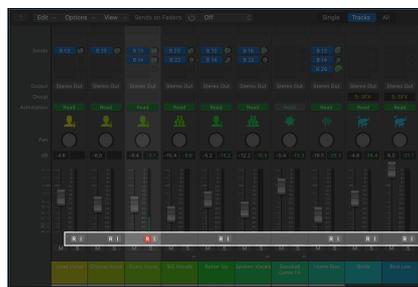
Solo モードでは、各ボタンが黄色に点灯します。ソロのトラックは明るい黄色に、ソロでないトラックは薄い黄色に点灯します。

## Arm モード

( 録音 ) アームモードでフェーダーボタンを押すと、トラックのアームをオン/オフできます。



トラック 3 が録音アームに設定されている様子。



Logic のトラック 3 は録音アームになっています。

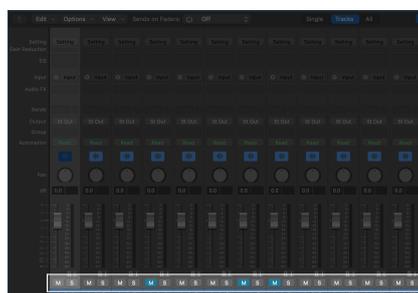
アームモードでは、フェーダーボタンが赤色に点灯します。トラックがアームされていない場合は薄い赤に、トラックがアームされている場合は明るい赤に点灯します。

## Mute モード

Mute モードでは、下の列のボタンが各トラックのミュート状態を表示します。ボタンを押すことで該当するトラックのミュートをオン/オフできます。



トラック 4、7、8 はミュートされています。



Mute モードでは、各ボタンがオレンジ色に点灯します。ソロのトラックは明るいオレンジ色に、ソロでないトラックは薄いオレンジ色に点灯します。

## Select モード

Select モードでは、ボタンで DAW のトラックを選択でき、各デバイスの詳細なコントロールが行えます。



**Select ボタンは、Logic Pro の各トラックと同じ色に点灯します。**

セレクトモードでは、フェーダーボタンがトラックの色に点灯します。選択中のトラックは、白く点灯します。

選択中のトラックは明るく点灯し、その他のトラックは薄暗く点灯します。

トラックを選択すると、トラック名がディスプレイに一時的に表示されます。

## Launch Control 3 で Cubase

本章では、Launch Control 3 と Cubase の連携について解説します。

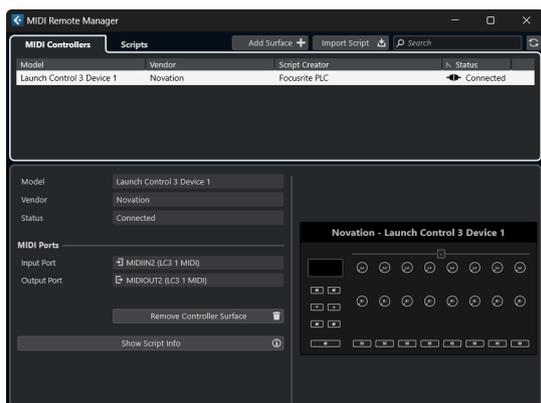
### Launch Control 3 を Cubase に接続する

Launch Control 3 を Cubase に接続すると、Launch Control XL は自動的に MIDI Remote として検出されます。

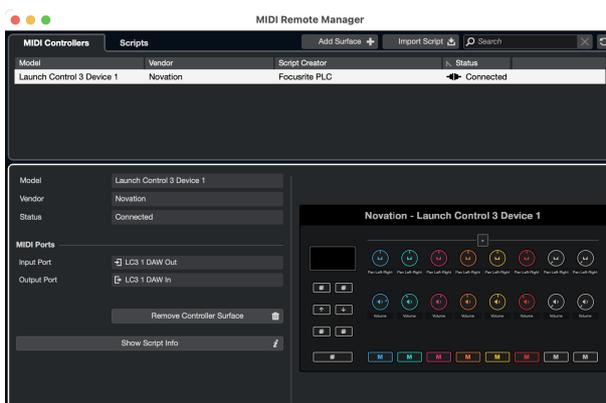
Launch Control 3 が自動的に認識されなかった場合は、MIDI Remote メニューでセットアップを行う必要があります。

1. 以下のページから Cubase 用 Launch Control 3 スクリプトをダウンロードします。  
[downloads.novationmusic.com](https://downloads.novationmusic.com)  
コンピュータのダウンロードフォルダにダウンロードされたスクリプトをインストールします。
2. Cubase を起動し、以下のメニューを開きます。
  - a. スタジオ (メニューバーのトップ)
  - b. スタジオ設定
  - c. MIDI Remote
3. MIDI Remote マネージャーを開きます
4. 入力および出カドリップダウン・メニューで LC3 In および LC3 Out を選択します。  
macOS では **DAW Out** および **DAW In**、Windows では **Port 2 (MIDIIN2)** を選択してください。

正しくセットアップされていると、MIDI Remote マネージャーの設定は以下のようになります。



Windows



macOS

### Track ボタンを用いた Cubase のナビゲーション

Track ボタンを押すと、Cubase の選択トラックを前後に変更できます。

トラックを移動すると、のディスプレイに移動したトラック名が一時的に表示されます。

Selected Track  
Track 1's Name

Shift ボタンを長押しすると Track ボタンが点灯し、トラックの移動が行えることを示します。たとえばトラック 1 を選択中の場合、前のトラックには移動できないため Track ボタンは点灯しません。

## Cubase でプレビュー機能を使用する

Shift ボタンでコントロールのプレビューが可能です。Shift を押しながらコントロールを操作すると、実際の値を変更することなく現在の値を画面で確認できます。また、Shift ボタンを 2 回押してラッチすることもできます。



### ヒント

Launch Control 3 では、すべてのモードでコントロール名のプレビューが可能です。

## Cubase でエンコーダーを使用する

Launch Control 3 では、2 種類の DAW エンコーダーモードを選択できます。

モードを変更するには、モードそして押す 関数画面に DAW コントロールまたは DAW ミキサーが表示されます。モード もう一度押すとモード選択が終了します。

エンコーダーモードを切り替えると、エンコーダーがマッピングされたパラメータが切り替わります。このときフェーダーとボタンの割り当ては変更されず、常に同じコントロールが行えます。

### DAW Mixer エンコーダーモード

DAW Mixer モードでは、Shift ボタンを押しながら Page ボタンを押すことで、1 列目のエンコーダーで DAW のパンやセンドをコントロールできます。

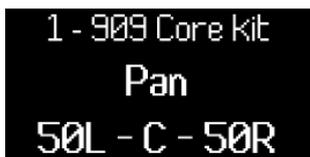
2 列目のエンコーダーは、常にミキサーボリュームをコントロールします。

### DAW Mixer モードで Cubase のパンをコントロール

DAW Mixer モードでは、3 列目のエンコーダーで現在のトラックバンクのパンを設定します。



パン・エンコーダーを回すと、該当するトラック名とパンポジション (L=左、C=センター、R=右) がディスプレイに表示されます。



パンの操作中は、エンコーダーが赤色に点灯します。

### DAW Mixer モードで Cubase のセンドをコントロール

で DAW ミキサー モードでは、ページ 下ボタンを押すと、上部のエンコーダー行から送信コントロールにアクセスできます。



DAW で 2 つ以上のセンドを設定している場合は、Page ボタンを押すことで目的のセンドを切り替えることができます。

センドを変更すると、該当するセンド名がディスプレイに表示されます。

### DAW Mixer モードでボリュームをコントロール

DAW Mixer モードでは、2 列目のエンコーダーで常に現在のトラックバンク ( 8 トラック ) のフェーダーボリュームをコントロールします。



### Cubase での DAW Control エンコーダーモード

DAW Control モードでは、各列のエンコーダーで Cubase の以下の設定をコントロールできます。

エンコーダーの列

1. 選択中のトラックの 8 つの [トラッククイックコントロール](#)。
2. 選択中のトラックの [チャンネル EQ](#)。

### DAW Control モードで Cubase のトラッククイックコントロールをコントロール

DAW Control モードでは、1 列目のエンコーダーは選択中のトラックの 8 つのトラッククイックコントロールに割り当てられています。

Cubase のクイック・コントロールは、トラック毎に動作します。各エンコーダーは、選択中のトラックに設定したクイック・コントロールに基づいて割り当てられます。



#### ヒント

Cubase の各トラックのクイック・コントロールを割り当てるには、[Cubase ユーザーガイドのトラックのクイック・コントロール](#) に関する章をご参照ください。

Cubase の MIDI リモートセクションにて、クイック・コントロールの割り当てを確認できます。



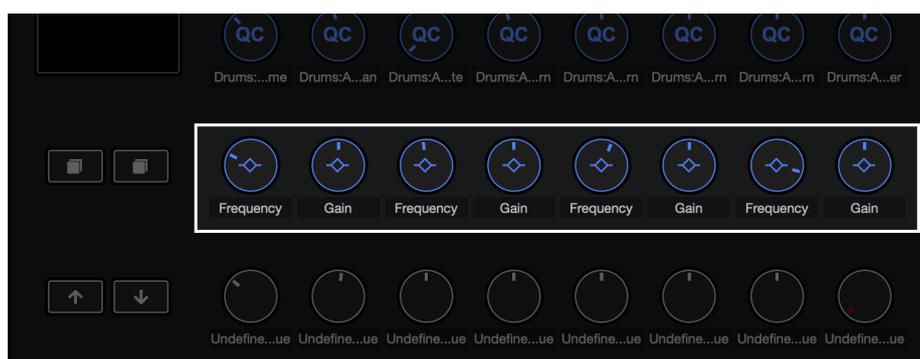
エンコーダーを回すと、クイック・コントロール名とその値がディスプレイに一時的に表示されます。



### DAW Control モードで Cubase のチャンネル EQ をコントロール

エンコーダーが DAW Control モードのとき、上から 2 列目のエンコーダーは選択中のトラックの **チャンネル EQ** に割り当てられます。

このページでは、各エンコーダーが以下の様に割り当てられます。



エンコーダー	パラメータ	ディスプレイ表示名
1	バンド1周波数	Lo Freq
2	バンド1ゲイン	Lo Gain
3	バンド2周波数	LMF Freq
4	バンド2ゲイン	LMF Gain
5	バンド3周波数	HMF Freq
6	バンド3ゲイン	HMF Gain
7	バンド4周波数	Hi Freq
8	バンド4ゲイン	Hi Gain

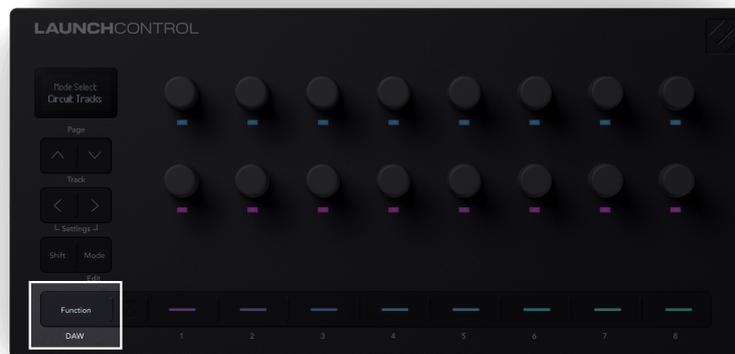


## ヒント

Cubase のチャンネルストリップを開くには、MixConsole を開き、編集したいトラックでチャンネル設定編集ボタン  を押すことでチャンネル設定編集ボタン

## Cubase でボタンを使用する

各列一番左のボタンを押すことで、各ボタン列の機能を切り替えることができます。



## Solo モード

Solo モードでボタンを押すと、該当するトラックがソロ状態になります。



トラック 2 がソロに設定された様子。

Solo モードでは、各ボタンがピンク色に点灯します。ソロのトラックは明るいピンク色に、ソロでないトラックは薄いピンク色に点灯します。

## Arm モード

( 録音 ) アームモードでフェーダーボタンを押すと、トラックのアームをオン/オフできます。



トラック 3 が録音アームに設定されている様子。

アームモードでは、フェーダーボタンが赤色に点灯します。トラックがアームされていない場合は薄い赤に、トラックがアームされている場合は明るい赤に点灯します。

トラックの録音アーム状態を変更すると、アームを切り替えたトラック名がディスプレイに一時的に表示されます。

## Mute モード

Mute モードでは、下の列のボタンが各トラックのミュート状態を表示します。ボタンを押すことで該当するトラックのミュートをオン/オフできます。



トラック 4、7、8 がミュートされている様子 ( ボタン 12、15、16 が薄く点灯 )。

Mute モードでは、ボタンが黄色に点灯します。ミュートされているトラックは明るい黄色に、ミュートがオフ ( アクティブ ) のトラックは薄い黄色に点灯します。

## Select モード

Select モードでは、ボタンで DAW のトラックを選択でき、各デバイスの詳細なコントロールが行えます。



セレクトモードでは、フェーダーボタンがトラックの色に点灯します。選択中のトラックは、白く点灯します。

選択中のトラックは明るく点灯し、その他のトラックは薄暗く点灯します。

トラックを選択すると、トラック名がディスプレイに一時的に表示されます。

## FL Studio を Launch Control 3 でコントロールする

本章では、Launch Control 3 と FL Studio の連携について解説します。

### Launch Control 3 を FL Studio に接続する

Launch Control 3 を接続すると、FL Studio は自動的に Launch Control XL を検出します。

Launch Control 3 が自動的に検出されなかった場合は、FL Studio の MIDI Settings でセットアップを行う必要があります。

1. 最新のスクリプトを使用できるように、最新バージョンの FL Studio をインストールしてください。
2. FL Studio を起動します。
3. 以下のメニューを開きます : Options > MIDI Settings
4. Port フィールドと Controller type ドロップダウンメニューを以下の通りに設定します。

#### Output

Port 番号を以下の様に設定します。

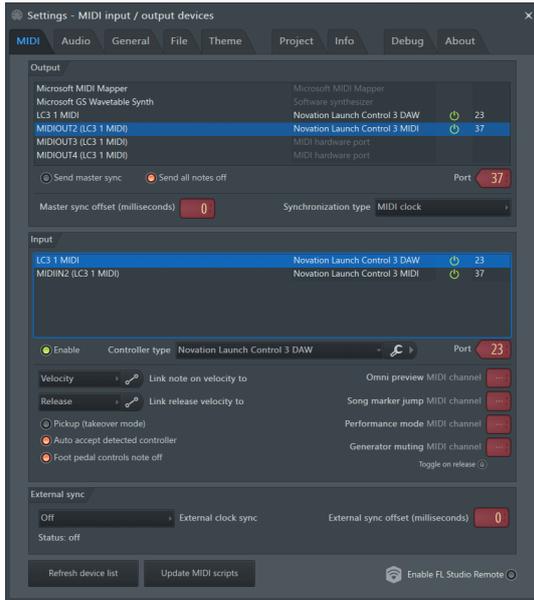
- **LC3 1 MIDI** のポート番号を設定します ( 例 : 23 )。
- **LC3 DAW** (macOS) または **MIDIOUT2 (LC3 1 MIDI)** (Windows) のポートを異なる番号に設定します ( 例 : 37 )。

#### Input

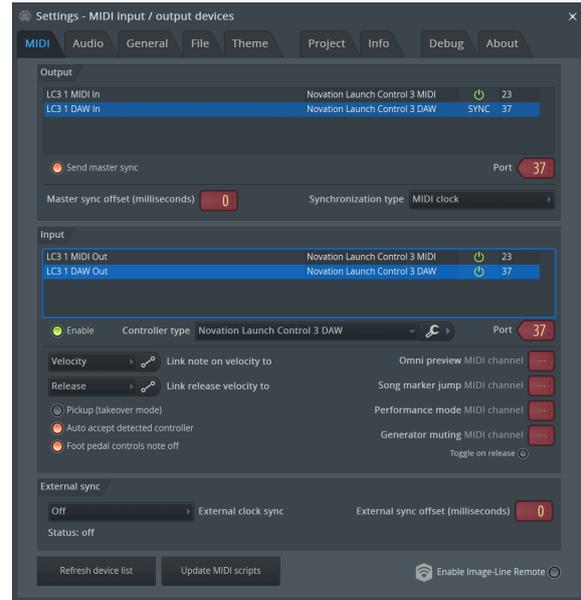
Controller type ドロップダウンメニューを以下の通りに設定し、ポート番号を前述の Output セクションのポートと同じ番号に設定します。

- **LC3 1 MIDI Out** を Novation Launch Control 3 MIDI に、ポート番号を 23 に設定します。
- **LC3 DAW In** (macOS) または **MIDIIN2 (LC3 1 MIDI)** (Windows) を Novation Launch Control 3 DAW に、ポート番号を 37 に設定します。

正しくセットアップされていると、MIDI 設定は以下の様になります。



Windows



Mac

## Track ボタンを用いた FL Studio のナビゲーション

Track ボタンは、DAW Control モードと DAW Mixer モードで異なる動作に割り当てられています。

- DAW Control モードでは、Track ボタンで FL Studio の Channel Rack のナビゲーションが行えます。Shift ボタンを押しながら Track ボタンを押すと、選択チャンネルを前後に切り替えることができます。
- DAW Mixer モードでは、Track ボタンで FL Studio のミキサーを 8トラックのバンク毎に切り替えることができます。Shift ボタンを押しながら Track ボタンを押すと、選択トラックを前後に切り替えることができます。

## FL Studio でプレビュー機能を使用する

Shift ボタンでコントロールのプレビューが可能です。Shift を押しながらコントロールを操作すると、実際の値を変更することなく現在の値を画面で確認できます。また、Shift ボタンを 2 回押してラッチすることもできます。



### ヒント

Launch Control 3 では、すべてのモードでコントロール名のプレビューが可能です。

## FL Studio で DAW モードを使用する

FL Studio では、Launch Control 3 の 2 つの DAW モードで FL Studio の 2 つのミキサー (メイン・ミキサーと Channel Rack) をコントロールできます。

- DAW Control モードは、FL Studio の Channel Rack をコントロールします。
- DAW Mixer モードは、FL Studio のミキサーをコントロールします。

## FL Studio で DAW Control モードを使用する

Launch Control 3 の DAW Control モードは、FL Studio の Channel Rack をコントロールします。

- 各列のエンコーダーは以下の様に割り当てられています。

1. プラグイン・パラメータ  
Channel Rack のパン
2. Channel Rack ボリューム

**Page** ボタンは、1 列目のエンコーダーの機能を変更します。

- DAW Control モードでは、ボタンは Channel Rack Select または Channel Rack Mute/Solo のいずれかをコントロールします。

**Function** ボタンを押すと、コントロール対象のパラメータを変更できます。

## FL Studio のプラグイン・パラメータをコントロールする

DAW Control モードでは、1 列目のエンコーダーで選択中の Channel Rack プラグインの最大 8 つのパラメータをコントロールできます。

プラグインによってコントロール可能なパラメータは異なり、操作可能なエンコーダーは LED が点灯します。

## Channel Rack のパンをコントロールする

DAW Control モードでは、Page v ( 下 ) ボタンを押すと 1 列目のエンコーダーで Channel Rack のパンをコントロールできます。

Channel Rack に含まれるチャンネルが 8 つ以下の場合、利用可能なエンコーダーのみが赤く点灯します。



## DAW Control モード時に FL Studio でボタンを使用する

DAW Control モードでは、ボタンは Channel Rack Select または Channel Rack Mute/Solo のいずれかをコントロールします。

**Function** ボタンを押すと、コントロール対象のパラメータを変更できます。

## FL Studio での DAW Mixer モード

Launch Control 3 の DAW Mixer モードは、FL Studio のミキサーをコントロールします。

- 各列のエンコーダーは以下の様に割り当てられています。

1. ミキサー・パン  
ミキサートラックの Parametric EQ
2. ミキサー・ボリューム

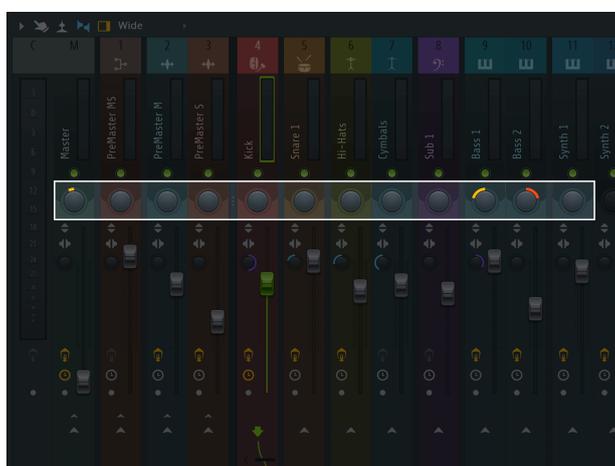
**Page** ボタンは、1 列目のエンコーダーの機能を変更します。

- DAW Mixer モードでは、各ボタンで Mixer Select、Arm、または Mute/Solo をコントロールします。

**Function** ボタンを押すと、コントロール対象のパラメータを変更できます。

## FL Studio のミキサーパンをコントロールする

DAW Mixer モードでは、3 列目のエンコーダーで現在のトラックバンクのパンを設定します。



パン・エンコーダーを回すと、該当するトラック名とパンポジション (L=左、C=センター、R=右) がディスプレイに表示されます。

1 - 909 Core kit  
Pan  
50L - C - 50R

## FL Studio の Track EQ をコントロールする

DAW Mixer モードでは、エンコーダーで FL Studio のミキサートラックの Parametric EQ をコントロールできます。



先頭から 6 つのエンコーダーが紫色に点灯し、以下の EQ パラメータが操作可能であることを示します。

エンコーダー	パラメータ	ディスプレイ表示名
1	バンド 1 周波数	Low Shelf
2	バンド 1 レベル	Low Shelf
3	バンド 2 周波数	Peaking
4	バンド 2 レベル	Peaking
5	バンド 3 周波数	High Shelf
6	バンド 3 レベル	High Shelf
7	なし	なし
8	なし	なし

## DAW Mixer モードでボタンを使用する

DAW Mixer モードでは、各ボタンで FL Studio ミキサーの Arm、Mute/Solo、Select をコントロールできます。**Function** ボタンを押すことで、各設定を順番に呼び出すことができます。

## 使用して Launch Control 3 他の DAW と

Launch Control 3 は、他の様々な DAW でも使用できます。HUI モードに対応し、専用のスクリプトがなくても、Launch Control 3 の主要な機能を利用可能です。



### 注記

HUI モードの機能は、一般的な DAW コントロール セクションとは異なります。

## HUI とは何ですか？

HUI ( Human User Interface ) は、MIDI コントローラーがカスタムコントローラースクリプトなしで DAW と通信できるようにする MIDI プロトコルです。専用のスクリプトがない場合、お使いの DAW が HUI をサポートしている可能性があります。

これにより、コントローラーは次のような基本的な機能を処理できるようになります。

- ミキサーコントロール ( ボリューム、パン、ミュート/ソロ )
- トラック選択

## どの DAW が HUI をサポートしていますか？

あなたはあなたの Launch Control 3 多くの DAW では HUI 経由で設定できます。以下の DAW での設定手順を概説しましたが、ほとんどの DAW で手順は同様です。

- リーパー ( 部分的な HUI )
- スタジオワン
- プロツール

## セットアップ Launch Control 3 DAW の HUI

ほとんどの DAW では HUI の統合は自動ではありません。そのため、いくつかの設定を変更する必要があります。Launch Control 3 働く。

## 死神

### ウィンドウズ

1. オプション > 環境設定...に移動します。
2. クリック 'コントロール/OSC/ウェブ'。
3. クリック '追加' を選択して HUI ( 部分 )。
4. 選択 **MIDI IN 2** 下 **MIDI 入力** Launch Control 3。
5. **MIDI output** Launch Control 3 で **MIDI OUT 2** を選択します。
6. クリック 'わかりました'。
7. クリック 'わかりました' をクリックしてウィンドウを閉じます。

## macOS

1. **Reaper** > **設定...** > **コントロール/OSC/Web** に移動します。
2. クリック '**コントロール/OSC/ウェブ**'。
3. クリック '**追加**' を選択して **HUI (部分)**。
4. **Focusrite** を選択 - **Novation - Launch Control 3 - DAW 出力** 下 '**MIDI 入力**':
5. 選択 **フォーカスライト - ノベーション - Launch Control 3 - DAW 入力** 下 '**MIDI 出力**':
6. クリック '**わかりました**'。
7. クリック '**わかりました**' をクリックしてウィンドウを閉じます。

## スタジオワン

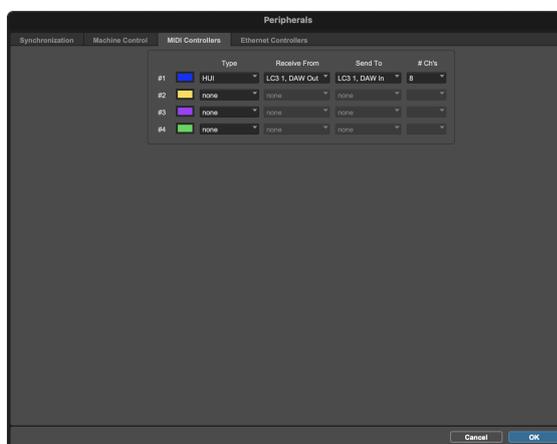
### DAW コントロール

1. クリック '**スタジオワン**画面上部に「」が表示されます。
2. クリック '**オプション**'。
3. 「**外部デバイス**'。
4. クリック '**追加**'。
5. 「**マッキー**>**HUI** 左側のメニューで「」オプション」をクリックします。
6. セット '**受信元**' そして '**送信先**'に **Launch Control 3** の **DAW ポート** (2番目のエントリー):
  - **MIDIIN2** そして **MIDIOUT2** Windows の場合。
  - **DAW Mac** の場合。
7. クリック '**わかりました**ウィンドウの下部に「」が表示されます。

これで、ミキサーを制御します。

## プロツール

1. へ移動 **Pro Tools > セットアップ > 周辺機器...**
2. 「**MIDI コントローラー**」タブ:
3. 下 '**タイプ**'、選択 **ファイ** :
4. 下 '**受信元**'、選択:
  - ウィンドウズ: **定義済み > MIDIIN2(Launch Control 3 MIDI)[エミュレート]**。
  - macOS: **定義済み > Launch Control 3 DAW 出力**
5. 下 '**送信先**'、選択
  - ウィンドウズ: **定義済み > MIDIOUT2 (Launch Control 3 MIDI)[エミュレート]**。
  - macOS : **Predefined > Predefined > Launch Control 3 DAW In**。
6. 正しく設定されていれば、設定は以下のようになります。「**# Ch の**」を **8** に設定:



7. クリック '**わかりました**'。

### HUI 経由で動作する機能は何ですか？

HUI の実装は DAW によって異なりますが、一般的には次のものを制御できます。

- ナビゲーション-トラック<そしてトラック>トラック間を移動します。
- 一番上の列のエンコーダーはパンとセンドを制御します。
- 2列目のエンコーダーは、ボリュームをコントロールします。
- ボタンコントロール **ソロ/アーム/ミュート/選択**。

# Launch Control 3 の Settings ( 設定 ) ページ

Settings ページでは、Launch Control 3 のワークフローやハードウェアに関する設定を行います。設定可能な項目は以下の表の通りです。

左右の Track ⇄ ボタンを同時に 0.3 秒押し続けると、Settings メニューにアクセスできます。

## Settings ページの操作方法

- Page ▲▼ ボタンを押すと、設定項目が切り替わります。
- 設定値の変更は、左上のエンコーダー、もしくは Track ◀▶ ボタンで行います。値を変更すると、現在の値がディスプレイに表示されます。

Mode ボタンを押すと Settings ページを終了し、Launch Control 3 が直前の状態に復帰します。

項目	値の範囲	説明	デフォルト値
Global Channel	1-16	カスタムモードで送信される MIDI メッセージのグローバルチャンネルを設定します。	1
MIDI Thru	On/Off	オンにすると、入力されたすべての MIDI メッセージが DIN 出力 2 に転送されます。	Off
LED Brightness	1-10	LED の輝度を設定します。	8
Screen Brightness	1-10	ディスプレイの輝度を設定します。	8
Message Timer	1-10	一時的なメッセージがディスプレイに表示される時間を設定します。	3
エンコーダ応答	遅い 中くらい 速い	エンコーダーを回す速さに応じてエンコーダーがどのように反応するかを設定します。 高速モードでは、素早い回転で全範囲をスイープできます。低速モードでは、同じ範囲をより多くの回転でスイープし、より高度なコントロールを実現します。 すべての設定において、エンコーダーをゆっくり回すことで正確な変更を行うことができます。 これはすべてのカスタム モードに影響しますが、DAW モードには影響しません。	中くらい

## ブートローダーモード

ブートローダーでは、通常の操作中に変更する必要の無い一部の設定を変更できます。

### ブートローダーモードに入るには

1. Launch Control 3 から USB ケーブルを取り外します。
2. Page ボタン両方を押し続けます。
3. USB ケーブルを接続し、電源を投入します。
4. Launch Control 3 の電源がオンになるまで Page ボタンを押し続けます。

ブートローダーモードでは、以下の設定を変更できます。

1. Mode ボタンで、イージースタート機能のオン / オフを切り替えます。
2. デバイス ID - ボタンを使用してデバイス ID を設定できます。複数の Launch Control 3 を DAW ソフトウェアで使用する場合に便利な機能です。

### **ブートローダーモードを終了するには**

- Track > ボタンを押します。

# Launch Control 3 仕様

## 技術仕様

コントロール	
スクリーン	OLED ディスプレイ
エンコーダー	RGB LED 付きエンコーダー x 24
ボタン	フェーダー毎に 2 つ、計 8 ボタン
ナビゲーション	Page ボタン x 2 (▲および▼) Track ボタン x 2 (◀および▶)
その他のボタン	Shift - 二次機能へのアクセスに使用 Mode - コントロールサーフェスのその他のコントロールを変更するために使用
接続性	USB-C ポート x 1 - 電源およびデータ通信に使用 MIDI ポート x 3 (In, Out, Out2/Thru) Out ポートおよび Out2/Thru ポートは、MIDI ポート経由の電源供給をサポート (最大 3.3V、10mA) ケンジントンロック・ポート

## 重量および寸法

重量	540g (1.19lbs)
高さ	43mm (1.69")
幅	250mm (9.84")
奥行	122mm (4.8")



Launch Control 3 の外観および寸法。

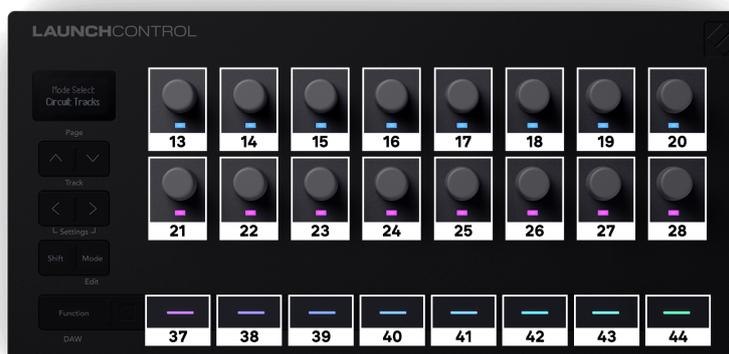
## Launch Control 3 保守パーツ

部品番号	部品	カテゴリ
CBLE002141	FFC ケーブル 40 ピン / ピッチ : 0.5mm / 長さ : 36mm / 同一面接点 ( 内部接続用ケーブル )	ケーブル
FFMB002415	Launch Control 3 ノブキャップ	プラスチック

# Launch Control 3 付録

## デフォルトモード ( 8 ) のパラメータ

モード 8 はパラメータが固定されており編集できません。デフォルトモードとして以下の CC 番号が MIDI チャンネル 16 で設定されています。



## その他の情報

### トラブルシューティング

Launch Control を使い始めるためのヘルプが必要な場合は、こちらをご参照ください：

[novationmusic.com/get-started](https://novationmusic.com/get-started)

Launch Control に関して不明な点がある場合には、いつでもヘルプセンターをご利用いただけます。また、以下の URL からサポートチームにお問い合わせいただくことも可能です：

[support.novationmusic.com](https://support.novationmusic.com)

のアップデートを確認することをお勧めします。Launch Control 最新の機能と修正が適用されます。を更新するには Launch Control のファームウェアを使用する必要があります。コンポーネント：

[components.novationmusic.com](https://components.novationmusic.com)

### 商標

Novation の商標は Focusrite Audio Engineering Ltd. の所有物です。本マニュアルに記載されているその他すべてのブランド名、製品名、会社名、およびその他の商標登録または商標は、それぞれの所有者に帰属します。

### 免責事項

Novation は、本マニュアルに記載されている情報が正確で完全であることに万全を期しております。本マニュアルまたは記載されている機器の使用に起因する機器、第三者または機器の所有者に対する損失または損害について、Novation はいかなる場合も責任を負いません。本マニュアルに記載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。仕様および外観は、リストおよび例示されているものとは異なる場合があります。

### 著作権および法定通知

Novation は Focusrite Group PLC の登録商標です。Launch Control は Focusrite Group PLC の商標です。

その他すべての商標および商品名はそれらの個別の所有者の財産です。

2026 © Focusrite Audio Engineering Limited. 無断転用禁止。



### 静電放電 ( ESD ) について

強力な静電放電 ( ESD ) が本製品の正常な動作に影響を及ぼす場合があります。その場合には、USB 接続を解除・再接続して再起動することで、正常な動作に戻ります。

## 謝辞

Novation は、本製品のために尽力してくれた以下の Launchkey MK4 チームメンバーに感謝いたします。

モバシル・アーメッド、ステファン・アーチャー、ベン・ベイツ、ターヴィ・ボニー、ニック・ブックマン、コナー・ボイド、アダム・ブリファ、ロバート・ブリッグス、ハンナ・バドワース、マリオ・ブオニンファンテ、アンドレ・セルケイラ、ウィリアム・チャールトン、ジェイソン・チャン、リチャード・コラード、サム・クーニハン、デイビデ・クオギ、エマ・デイヴィス、カイ・ヴァン・ドンゲン、エド・フライ、タレン・ゴピナサン、ライアングレイ、マーティン・ヘインズ、ジェイク・ヘルプス、ジェイ・ハッチンス、ロズ・ジャクソン、エディ・ジャッド、ダニエル・ケイ、アルナブ・ルスラ、ポール・マンセル、ベン・マッカーディ、ルディ・マッキンタイア、ヴィニ・モレイラ、ジュリアン・マウントフォード、ガガン・ムダール、ダニー・ニュージェント、ピエール・ルイス、ハサン・サイード、ソフィア・サンゲラ、ダン・スティーブンス、セリス・ウィリアムズ、ルイス・ウィリアムズ、アレックス・ウー、グレッグ・ジエリンスキー

そして勿論ベータテスターの皆様にも感謝の意を表します。

執筆 : Ed Fry